

いしかわ型復興住宅 ファミリー向けプラン (芳賀沼製作 + kyma)

まちと連続する小さな住まい(2階)

～モデルプランの特徴とメッセージ～

住人がその時の天候や気分、または行事に合わせて空間を使える、小さくても選択性のある暮らしを提案します。道から寝室に至るまで連続的な空間で、外部への開放度が段階的になっています。住人がその場その時に合わせて使う場所を選択できます。

(地域とより繋がりたい時は縁側や食堂、静かに本を読みたいときは居間など)別の空間に居ても空気が伝わるよう、また同じ空間に居ても1人にもなれるよう、床や天井の高さ、開口部を調整しています。それは外部との距離感や家族どうしの距離感を調整し、心地よい生活を送ることに繋がると考えています。

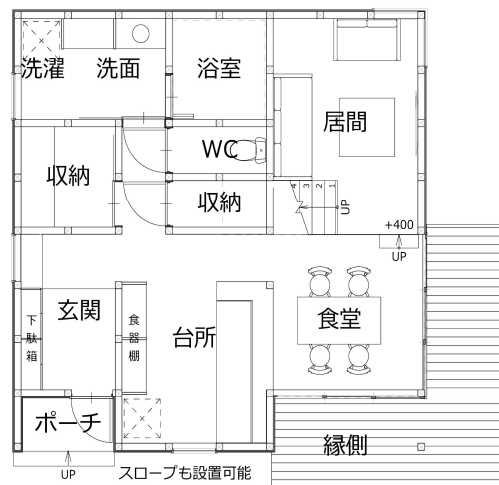
提案プランの概要

構造・工法 木造(在来軸組工法+タテログ構法)
 延床面積・階数 86.12㎡(26.05坪)・2階建て
 標準工期 2ヵ月
 概算工事費 2,460万(税込)

概算工事費に含まれない費用

- ・地盤調査費・地盤補強工事
- ・外構工事・屋外電気工事
- ・屋外給排水工事・浄化槽設置費
- ・エアコン・カーテン、家具工事
- ・登記に要する費用・諸手続き費用

1階平面図



2階平面図



部屋を増やすことも可能

【いしかわ型復興住宅 5つ要件】提案内容

①コミュニティ

食堂のコーナー窓・縁側はまちと繋がり、自発的な(受動的にも)コミュニケーションを誘導します。居間はそこから一段上げることで少し落ち着きを設け、そこから階段で2階の寝室へと連続していく計画としています。

②景観(まちなみ)

外壁は杉の羽目板、屋根は経済性を考慮し折板屋根を採用しました。既存のまちなみに色彩を合わせることで、折板屋根という異素材がよいアクセントとなるよう考慮しています。

③地域特性

雨や雪が多い能登の気候特性に合わせ、道に面して屋根付きの縁側を設けています。縁側が地域との接点となり、周辺住民との関係性を構築する1つの契機になればいいと考えています。

④住宅の基本性能

(耐震)軸組構造+タテログパネルの耐震壁によって耐震性を確保します。(省エネ・環境負荷)外壁はタテログパネル、屋根はグラスウールによって、断熱性を確保します。また大きく出た屋根は夏季の強い日射を遮蔽します。

⑤コスト(費用)

ローコストでも水準以上の居住性を実現するために以下を計画。
 ①容積を最小限に抑える。②シンプルな軸組構造+タテログパネルで工期を短縮。③内壁はタテログパネルで内装材を省略。
 ④折板屋根を採用し、垂木・野地板を省略。

外観パース



主な外部仕上げ

屋根 折板屋根(ガルバリウム鋼板)
 外壁 スギ板縦張り 押縁押さえ
 建具 複層樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 フローリング+クッションフロア
 壁 スギ現し仕上げ、一部クロス仕上げ
 天井 クロス仕上げ

○ 施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表者所在地 石川県輪島市河井町3-216-1 / 福島県南会津郡南会津町針生字小坂40-1

代表者 芳賀沼 伸 担当者 芳賀沼 克紀

電話番号 0241-64-2221 E-mail: info@haganuma.co.jp